

風 か ほ る

新学期が始まって、約1ヶ月がたちました。子どもたちは、新しい学校、学年、学級で、それぞれ思いをもって生活をしています。職員室でも、子どもの頑張りがよく話題になっています。一方、「なりたい自分」と現状の「なれる自分」のギャップでしょうか、ちょっと疲れているように見える子どもたちも出てきました。元気に過ごしているように見えても、新しい人間関係での生活は、知らず知らずに緊張していることもあるかと思います。連休が子どもたちにとって、ちょっと立ち止まってエネルギーをためる時間になればと考えています。

また、24日の保護者会にご参会いただき、ありがとうございます。欠席をされた保護者の方におかれましても、配布の資料等をご確認いただくとともに、ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

学校教育目標について

本校の学校教育目標は、「心豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 健康でたくましい生徒」です。いわゆる「知・徳・体」をバランスよく育てようとするものですが、本校では、最初に「心豊かな生徒」が掲げられていることが特徴であると考えています。

先日の朝会でも、生徒に「心豊かな」とはどんなことかということ話をしました。「心豊か」の具体的な姿として、自分自身を振り返りながら失敗を恐れず挑戦すること、自分も相手も大切にできること、一人ではできないことを協力して作り上げ、互いにつながれること、を示しました。中でも、特に大切にしたいのは、「挑戦」する気持ちを大切にしたいということです。学習はもちろん、様々な局面で、失敗を恐れず、積極的に考え、行動することが、これからの時代に特に必要だと考えています。予測困難な時代を生きていく子供たちに、未知のことにも積極的に挑戦する気持ちや力が育つよう支援していきます。

今年度、学校教育目標を踏まえ目指す生徒像として以下のように考えました。

- ・自己を見つめ、自他を大切にし、互いにつながる生徒（心豊かな生徒）
- ・自ら学び、互いを高め合える生徒（自ら学ぶ生徒）
- ・心身ともに健康で、積極的に挑戦できる生徒（健康でたくましい生徒）

それぞれの家庭におかれましても、こんな大人になってほしいという願いがあることでしょう。機会をとらえて、「どんな人に育ってもらいたいのか」について、お話しいただければと思います。

なお、学校全体の教育構想であるグランドデザインをホームページに掲載しています。具体的には、「子どもたちの生きる力を育てる教育プログラム」を進めます。「教育活動の中核である授業での取り組み」「自分や他者を大切にする心の育成」「命の大切さを実感できる取り組み」「生徒指導・教育相談体制の充実」「小学校をはじめ、関係団体との連携」の5つの軸をもとに、教育活動を行います。

相談室をどうぞご利用ください

相談室では、生徒はもちろん、保護者からの相談を受けつけています。下記の通り、相談員、スクールカウンセラーが、学校生活全般（発達面、情緒面、親子関係、友人関係、教師との関係など）について、相談活動を行っています。

昨年度は、延べ600名を超える生徒の来室、500件を超える生徒、保護者の相談活動がありました。

直接、ご来校いただいての対応も可能ですが、事前にご連絡をいただくと確実に相談の時間を確保することができます。また、相談室直通の電話はありませんが、「相談室につないでください」と言っていいただければ、お名前を名乗らずとも、相談員につながることになっています。子どもたちも多感な時期となり、難しさを感じたり、悩んでいらっしゃったりする保護者の方も多いのではないのでしょうか。ぜひ、ご利用ください。（1階のいちばん東よりの部屋が相談室です）

【相談が可能な時間】

- ・山田（心のふれあい相談員）（月～金 10時～15時）
- ・佐藤（市スクールカウンセラー）（火、金 8時15分～16時45分）
- ・宮下（県スクールカウンセラー）（水 10時～16時35分）

この他、市立教育センター教育相談室（2923-2396）もご利用になれます。



学校ホームページについて

本校では、ホームページを通じて、学校の情報、生徒の様子などを伝えています。週に3回程度は更新しています。コロナ禍が続き、ご来校いただく機会がもてない中、お子さんとの会話のきっかけにもなれどと考えています。地域の方にも学校を知っていただく手立てにしています。

また、個人名の掲載がある学校だよりや、氏名が特定が容易な写真などは、パスワード付きの保護者用ページに掲載しています。新しいパスワードは、5月の連休明けにお知らせし、5月下旬から新しいパスワードに切り替える予定です。ご承知おきください。

開校記念日

4月21日は、本校の開校記念日でした。昭和22年、この地には、吾妻尋常小学校がありました。（写真は校庭南側道路脇に残る吾妻尋常小学校時代の門柱）校舎の一部を間借りして、この日に、吾妻中学校として、1、2年生のみ全校155名、4学級でスタートしました。昭和28年に小学校が移転し（南小学校）、昭和36年に校名も南陵中学校になりました。卒業生も、1万5千人を超えました。



正門入口右側に掲示がありますが、校庭の真ん中から1300年前に建設された道路跡が遺跡として発見されました。「東山道武蔵路」の一部といわれ、道幅12メートル（4車線の道路相当）もあるものです。発掘当時の校庭の写真は、千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館にも展示されているほど価値のあるものです。このように、古代から人々の生活、歴史の中で今日に至っています。